

白鷺教育会

姫路支部だより

令和4年7月10日発行・発行人 芦田 守

ウクライナ民話「てぶくろ」を思い出して

白鷺教育会姫路支部 会長 芦田 守



令和4年2月、ロシアによるウクライナ軍事侵攻が始まった。日本では、3回目のコロナワクチン接種の時期であった。マスコミでは、コロナ報道よりもロシアとウクライナ情勢についての報道が多くなっていく中、ウクライナ民話「てぶくろ」を思い出した。何度か子どもに読んでやった絵本である。

「おじいさんが雪の森の中で手袋を片方落としてしまった。それを見つけた食いしん坊ネズミが住み着き、ぴょんぴょんカエル、早足うさぎ、おしゃれ狐と続き、さらに牙持ちイノシシが住み着いていった。最後には、手袋を落としたことに気づいたおじいさんが拾いに来ておしまい」という童話である。

小さなネズミからだんだん大きなイノシシまで入る不思議な手袋、まるで動物たちが楽しい共同生活をしているようなシェアハウス手袋だと想像してしまう。おじいさんが落としたことに気づき戻って来るまでは僅かな時間だろうが、動物たちが互いに自己紹介をしながら生活していた時間は何日だったのだろうかと思ってしまう。何度読んでも不思議な世界の童話として読み手や聞き手の心の中にほのぼのとした温かさや優しさを生じさせてくれる。

きっと、この民話が生まれた時代を生きた人々の願いや希望でもあったのだろう。どのような形で両国に平和が戻るのか分からないが、一日でも早くロシアの軍事侵攻が止み、人々の願いであったウクライナ民話「てぶくろ」の温かさや優しさが戻ることを祈っている。

令和4年度 新入会員

浅井 綾 (城乾小)・平山 涼子 (手柄小)・坂本 武士 (妻鹿小)・大上 俊介 (津田小)
中野 靖子 (網干小)・大谷 賢司 (山田小)・飯田 雅宏 (谷外小)・本間 一生 (花田小)
石本 三郎 (御国野小)・小林 麻矢 (的形小)・鷹谷 尚 (家島小)・高原 督友 (置塩小)
川島 邦夫 (苜野小)・久保 里美 (香呂小)・内田 哲也 (城乾中)・森下 博光 (高丘中)
鎌谷 順一 (大白書中)・中村 寛治 (山陽中)・船本 和男 (灘中)・中野 裕史 (林田中)
糸川 隆一 (坊勢中)・高田 周祐 (教育研修課)・竹原 真理子 (教育研修課)
平尾 勇貴 (学校指導課)・小島 浩平 (学校指導課)・佐野 利英 (学校指導課)
岡本 哲也 (教育企画室)・重内 俊介 (育成支援課)・伊勢田 佳子 (育成支援課)



「総会を終えて」

5月7日、3年ぶりの姫路支部総会が103名の参加者の下、総合教育センターで開催されました。冒頭、芦田会長から挨拶があり、来賓の本部会長進藤様からは、120周年記念大会開催の御礼とともに社会の変化に対応できる白鷺教育会の推進について話がありました。続いて姫路市教育長西田様から、市教育の現況について、熱中症や新型コロナとのバランスをとった教育活動と体罰のない学校作りを中心に進めていると説明がありました。

その後行われた議事では、令和3年度事業・会計報告につづき、令和4年度事業計画・予算案とともに承認いただき、今年度の白鷺教育会のスタートを切ることができました。

尚、昨年度購入したプロジェクターについては、今後研修会等でご利用下さい。

(広報部 矢内 至)

「教育講演会」(今年度は、例年の懇親会を教育講演会に替えて実施)

演題：「学校は社会の縮図」主体性のある学校運営～制服変更の取り組みから～

講師：姫路市立山陽中学校 校長 長谷川貴久 先生

<講演内容>山陽中学校では、2019年に教諭と保護者による検討委員会を立ち上げ、2021年4月より、男女の標準制服を機能性を優先したブレザーとスラックスに変更した。ご講演を伺っていると、単に制服を変更したという話ではなく、生徒や保護者へのアンケート実施をはじめ、時代の変化や環境、ジェンダーレスの観点、各通知通達等々あらゆる角度から検討を重ね、長谷川校長の確固たるリーダーシップと職員総意のもと実施の運びとなったことがよくわかった。「時代や環境、男女の在り方は変化している。これまで変わってこなかった学校だが、社会に敏感になり、子ども達の将来をリードする役割を果たしたい」と力強く話された。



「白鷺教育会姫路支部総会に参加して」

4階の窓枠にはまり込んだ姫路城の花吹雪の美が映える4月。新しい環境への戸惑いと希望を抱いた初々しい361名を迎え入れ、山陽中学校は、全校生徒991名の市内最多の活気・元気・心意気が溢れる学校となりました。同時に、私が教頭として責務を担う最初の学校になりました。

4月からのわずかな間ですが、学校長が掲げる教育目標「TraditionalとGlobalの融合」の実現に向かって、全力で取り組む教職員や生徒、さらには保護者の姿を目の当たりにし、驚きと感動の連続でした。そして、その責任の大きさに身が引き締まる思いとともに、管理職の役割の重要性にあらためて気づかされました。それは、一つの方向に向かって取り組み結果につなげる組織力、周囲を意欲的に取り組ませる統率力等、今年度より、私がある一端を担うことになりました。

昨年度、教頭試験を受けるにあたり、白鷺教育会の諸先輩方からは、激励と丁寧なご指導をいただき本当にありがとうございました。今後も引き続き、諸先輩方が築いてこられた歴史の重みと教育に対する情熱をしっかりと受け継ぎ、自身を成長させ、次世代につないでいけるよう日々精進していきたいと思っております。

(姫路市立山陽中学校 教頭 中村 寛治)

令和4年度 現職教員研修講座のお知らせ

白鷺教育会姫路支部では、姫路市の教育文化の振興に役立つような様々な活動に取り組んでいます。その一つに「現職研修会」があり、これまで毎年実施しておりましたが、一昨年は新型コロナウイルス感染が拡がり、開催することができませんでした。昨年は感染が収まり切っていませんでしたが、感染防止に配慮しながら実施し、多数の先生方にご参加いただきました。今年度も、先生方の時宜に応じた職能研鑽の内容と方法を考え、現職の先生方を支援し、少しでもお役に立てたらと思い、これまでと同じように4講座の開講を計画しています。

会員の皆様方には、本会の研修講座に対しご理解とご協力をいただき、ご参加くださるとともに、中堅や若い現職の先生方に、教員としての資質向上のために、ご参加をお勧めくださいますようお願いいたします。

なお、各講座の詳細、申し込み方法等につきましては、改めて各学校にご案内申し上げます。

学級経営講座（小・中学校）

「子ども理解に基づく 学級経営のあり方」

日時 7月28日（木）18:00～20:00

場所 城の西公民館

講師 姫路市立安室小学校前校長
梶原 潤一郎 先生

学校運営講座（小・中学校）

「学校運営の課題と法規（2回講座）」

日時 8月5日・19日（金）
18:00～20:00

場所 イーグレ姫路

講師 関西福祉大学教育学部教授
尼子 尚公 先生
姫路市立安室中学校元校長
矢内 至 先生

授業改善講座（小・中学校）

「小学校外国語教育入門講座」

—ICTを活用した外国語活動・教育—

日時 8月6日（土） 9:00～12:00

場所 姫路市教育会館

講師 姫路市立八幡小学校 主幹教諭
兵庫教育大学大学院非常勤講師
岡本 真砂夫 先生

教職特別講座（小・中臨時講師）

「教員採用試験対策・教師力向上」

日時 年に数回程度 10:00～12:00

場所 城の西公民館

講師 姫路大学教育学部招聘教授
川渕 博祥 先生

受講には事前の申し込みが必要です。申込書やその手続きにつきましては、各講座の案内状をご覧ください。なお、新型コロナウイルスの感染状況により開催の中止や参加人数の制限をする場合があります。ご了承ください。（研修部 谷口 和良）



物故者のお知らせ

(39号以降)

中安 貞雄 (昭和 16)	令和 3 年 11 月	・ 吉田 八郎 (昭和 28)	令和 3 年 12 月
井上 皎 (昭和 28)	令和 4 年 1 月	・ 山田 博史 (昭和 22)	令和 4 年 1 月
山本 亀夫 (昭和 27)	令和 4 年 2 月	・ 工藤 俊助 (昭和 50)	令和 4 年 2 月
小林 繁富 (昭和 44)	令和 4 年 2 月	・ 水谷 義秋 (昭和 29)	令和 4 年 2 月
木下 憲臣 (昭和 63)	令和 4 年 4 月		

謹んで哀悼の意を表します

支部役員退任のお知らせ

昨年度まで、姫路支部役員としてご尽力いただきました魚住妙子様（副会長・厚生部）、横内恵様（副会長・研修部）、冨田ゆかり様（広報部）が、支部役員を退任されます。たいへんお世話になり本当にありがとうございました。

3人の方々には、健康に留意され、今後もご活躍されますことをお祈り申し上げます。

令和4年度 姫路支部役員

会 長	芦田 守				
副 会 長	谷口 和良	藤井 三津子	坂田 紀子	平田 己江子	
推 進 委 員	井上 妙子	池田 伸子	田中 智也	原田 貞雄	
	田口 純子	飯塚 晃三	谷田 睦	矢内 至	
顧 問	平野 成介	進藤 正洋			
委 員 長	船曳 則成				
監 事	朝田 眞司	仲井 一雄			

〈活動組織〉

総 務	田中 智也	原田 貞雄			
研 修	谷口 和良	飯塚 晃三	谷田 睦		
厚 生	平田 己江子	池田 伸子			
広 報	藤井 三津子	坂田 紀子	田口 純子	矢内 至	
会 計	井上 妙子				



姫路支部会員数 626 名 (R4.5.1 現在)

編集後記

今年も多くの新会員の方々に入会いただき頼もしく感じています。

国内ではコロナ禍に翻弄された2年半を経て、ようやく感染者の爆発的な増加が収まりつつあります。学校現場でも日常を取り戻す努力を重ねられています。制約のある中、教育活動の継続発展に力を尽くしてこられた皆さまに敬意を表します。

年2回の「姫路支部だより」と機関誌「提言」では、教育活動に誠心誠意取り組まれている先生方や学校の様子、豊かな経験に裏打ちされた退職会員の方々の幅広い見識をお伝えできるよう広報一同努めてまいります。
(広報部 藤井三津子 坂田紀子 田口純子 矢内 至)